

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394100107
事業所名	グループホーム フレンズハウス富木島

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。また、班長として定例会に参加して施設の情報発信や地区役員としての役割を担い地域に貢献している。町内会の総会や地域の一斉清掃に参加して交流を深め、自治体主催の夏休みボランティア体験の要請があれば受け入れている。気軽に立ち寄って相談できる「介護何でも相談所」として、のぼり旗を立て地域に呼びかけ、地域との繋がりを深めたり、チームオレンジの活動を通して地域に貢献している。コロナ禍により外食支援やお楽しみボランティアの訪問、中学生の福祉体験などの交流は留まっているが、今年再開される地域の秋祭りには参加する予定としている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	新型コロナウイルスの影響により、運営推進会議は2か月に1回書面により開催をしている。家族、民生委員、老人会会長、地域包括支援センター職員、認知症知見者へ、事業所の運営状況や活動内容などを報告し、返信用封書やFAXなどで参加者からの意見や情報を聴取した上で管理者の総評を記載した議事録を関係者に郵送している。意見や要望などは職員間で検討してケアの向上に努めている。議事録は、いつでも見られるよう玄関に置いてある。参加できない家族には、案内や議事録を「フレンズ通信」等と共に送付し、家族や地域との情報のパイプが途切れないように努めていく心積もりとしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護受給者の相談等で市の関係窓口を訪れたり、担当職員が施設を訪れるなど日頃から連絡を取り合っている。また、介護保険更新の手続きや申請書類、運営推進会議録などを持参している。市の担当職員とは情報の交換や入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。管理者は認知症部会の部会長を務め運営に貢献している。東海市地域包括ケア推進会議や認知症初期集中支援チーム検討委員会などを含む、チームオレンジの定例会や認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、本人と家族を支援する地域づくりに向けた活動に参加している。市主催の行事や徘徊模擬訓練はコロナ禍で留まっている。職員の研修はネット配信を利用する予定としている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	入居者からは日々の関りの中から思いを聞き、意見や要望などは記録して職員で情報を共有し運営に反映させている。家族からは面会時や運営推進会議の折に意見や要望を聞くようにしている。また意見箱の設置やサービスについてのアンケートを実施し、内容を分析してサービスや運営に反映させている。管理者からの手紙や担当職員から入居者の日頃の様子と写真を載せたお便りを毎月交互に家族に送付し、家族に安心感を届けている。今までコロナ禍で制限されていた面会も緩和され、予約制で一組2名、15分程度の面会が事業所内で可能となった。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議については新型コロナウイルスの影響で書面開催としている。今後状況を確認しながら再開できる事を望んでいいる。さらに災害をテーマとして勉強会や防災について運営推進会議で取り上げ、地域と協力関係を築くための努力をしている。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価			○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								